

ムスタング

ターフタイプ トールフェスク

《ムスタング の特徴》

- ・芝の質と色がより改善されている。
- ・総合的な抵抗力がより改善されている。
- ・高温と乾燥に対する抵抗性が改良されている。
- ・夏場の生育がより改善されている。
- ・エンドファイトの感染率が高い。

< 特徴 >

ムスタング（テスト番号 R T F 8 9）は、ムスタングと同じように標準的な高さのトールフェスクですが、総合的な芝質、耐病性、遺伝的色合い、忍耐力についてかなり改良されています。ムスタングは、高いレベルでエンドファイトに感染しており、地上部を食害する虫に対しての抵抗性を示すだけでなく、夏場の生育も優れた特徴を示します。

< 開発の過程 >

ムスタングは、1988年に乾燥と高温の長い夏の後に選抜されました。ニュージャージーの研究圃場で、1988年の特に異常なほどの厳しい夏の終わりに、最高のターフを維持しているプロットから選ばれました。それらの株は、ニュージャージーからオレゴンのピックシードウェスト社の研究圃場に移され、均一性と種子の生産力の観点からスクリーニングされました。その中から選ばれた株が掛け合わされ、R T F 8 9として種子が始めて収穫されました。この種子は、すべての保証種子の基準となる原種の世代として、ムスタングの圃場に植え付けられました。

< 使用するにあたって >

ムスタングは、優れた芝を必要とするゴルフ場や、公園、遊技場、スポーツフィールド、また、その他の高品質のトールフェスクのターフが要求される低管理エリアなどに使用することをお勧めいたします。ムスタングは、ソッド生産者に高品質のソッドが出来るとして大変人気があります。

< 造成方法 >

夏場にはかなりのストレスがある地域では、秋に播種することをお奨めいたします。春の播種に関しては、早めの時期に播種してください。ムスタングは、低管理エリアに使用しても優れた性質を示します。播種量は、刈り高や造成期間の長短にもよりますが、50mmの刈り高の場合、或いは造成期間が長い場合、30～60g/m²、刈り高が20mm前後の

場合或いは、造成期間が短い場合、80～120 g / m²が適当であると
考えます。通常の気候条件では、播種後8～12日で発芽いたします。
最も良い結果を得るためには、根が十分に張るまで、水分の供給を怠ら
ないようにしてください。

<メンテナンス>

ムスタング は、窒素を1年間でm²当たり実際の成分量で10 g前後
必要とします。**ムスタング** は、ひとたび活着いたしますとブルーグラ
スやライグラスなどに比べて、非常に少ない散水量で管理できます。で
すから、芝を使うために必要最低限の散水と肥料で管理できるのです。
ムスタング は50～75 mmの刈り高で最高の性質を示しますが、20
mm以下でも十分に管理できます。

ムスタング のブラウンパッチに対する抵抗性

1992年の結果より
(9 = 発病なし)

| | |
|----------|-----|
| ムスタング | 8.0 |
| ミニームスタング | 7.7 |
| レーベル | 7.7 |
| レーベルJr | 7.3 |
| クロスファイアー | 7.3 |
| ウィンチェスター | 6.3 |
| ボンサイ | 6.0 |

ムスタング の芝質の平均点

(9 = 最高)
シバ^o-スプリングス、MD

| | |
|----------|-----|
| ムスタング | 6.9 |
| レーベルJr | 6.8 |
| クロスファイアー | 6.8 |
| ミニームスタング | 6.7 |
| レーベル | 6.7 |
| ボンサイ | 6.6 |
| ウィンチェスター | 6.6 |

(9301M)